

# 平成23年春の叙勲 第16回危険業務従事者叙勲

平成23年4月29日に発令され、6月に発表された平成23年春の叙勲および第16回危険業務従事者叙勲の市内の受章者を紹介します。

## 瑞宝中綬章 (教育研修功勞)

すずき ともお  
鈴木 朝夫さん (78歳)  
土佐山田町植



鈴木さんは、母校の東京工業大学で、長く研究を行い、主に金属・鉄鋼に関する研究を行われ、多大な業績を挙げられています。

高知工科大学の設立にも大きく貢献され、平成9年から平成13年までは、同大学副学長を務められました。

「工科大の創設に参加できたことは貴重な経験であり、達成感に満ちたものだった。地域の活性化はどうすれば良いか、活性化とは、豊かさとは、を考えながら、評論家的な目線で高知を眺めていこうと思う」と話してくれました。東京工業大学名誉教授・高知工科大学名誉教授。千葉県出身。

## 瑞宝双光章 (消防功勞)

よのもと とよとし  
世ノ本 豊年さん (68歳)  
土佐山田町植



世ノ本さんは、昭和36年に、土佐山田町消防団に入団し、平成22年3月まで49年にわたり消防団員として地域に貢献されました。平成17年から平成22年までは、土佐山田消防団団長を務められました。

昭和47年の集中豪雨による、土佐山田町繁藤追廻山の山崩れの大災害では、団員として旺盛な消防精神と行動力によって連日、行方不明者の発見に努められました。

「消防団での活動を通して、人とのつながりができた。皆さんに助けてもらい感謝している」と話されました。鍛造業。香美市交通安全指導員。

## 瑞宝小綬章 (教育功勞)

のじまくにひろ  
野島 國弘さん (71歳)  
土佐山田町楠目



野島さんは、昭和42年に清水高校で社会科の教諭として採用され、平成10年4月に就任した城山高校校長を最後に平成13年3月に定年退職されました。

平成7年4月から3年間務められたろう学校長在任中に、聴覚に障害のある乳幼児の早期教育の重要性に着目し、0・1・2歳時教育相談学級を設置されました。また、昭和43年から昭和55年までの12年間は、大柄高校に勤務されており、「在勤中は、校務では進路指導を担当し、生徒とコミュニケーションを深くとれてよかった」と話されていました。香北町北岩改出身。

## 瑞宝双光章 (危険業務)

にしお やすひろ  
西尾 泰洋さん (71歳)  
土佐山田町神通寺



西尾さんは、昭和36年3月に高知県警に採用され、平成12年3月に窪川署次長を最後に定年退職されました。警察学校を修了し、昭和37年4月に本山署に配属となり、その年の12月に本山署の留置人の脱走事件が発生し、雪山の中、軽装で凍えながら徳島県境まで犯人を追跡したことが、今でも印象深いそうです。

甫喜ヶ峯森林公園(土佐山田町)で全国植樹祭が開催され、天皇陛下がご臨席された昭和53年当時は、旧山田署に配属され、警備にあたられました。「知らない土地に行き、いろいろな人に助けられ、知り合うことができた」と笑顔で語ってくれました。

## 日米草の根交流サミット



龍河洞入り口

6月28日～7月4日、第21回日米草の根交流サミット高知大会が開催され、アメリカから84名が来高しました。香美市でも3名がホームステイし、アンパンマンミュージアムや、鍛冶屋やフラフ製作工場を見学しました。

写真左から Evelyn Hara, Rapp Jonathan Sam, Rapp Samuel Lee.



▲濱崎さん(中央)と推進員の皆さん

濱崎艶子さん(香北町永野)が全国食生活改善推進員団体連絡協議会名誉会員賞を受賞しました。

この表彰は、90歳を過ぎても食生活改善推進員として地域の食生活改善および、食文化の継承の担い手として活躍されている濱崎さんの功績に対して贈られたものです。濱崎さんは昭和39年、土佐山田保健所での栄養教室第1期生として修了されてから今日まで、推進員として活動されています。「苦しい時、忙しい時に、会員同士助け合いながらボランティア活動をしてきて、今では楽しい思い出となっています」とこれまでを振り返られました。

## 第40回 繁藤慰霊祭



7月5日、第40回繁藤山崩れ殉職・殉難者追悼慰霊祭が哀悼の広場(土佐山田町角茂谷)で執り行われました。慰霊祭に先立ち、繁藤小中学校児童生徒が、自分たちで折った千羽鶴をささげ、黙とうを行いました。慰霊祭には、遺族や関係者ら約120人が参列し、犠牲者のめい福を祈りました。遺族会長で祭主の西岡統一さんは参列者を前に、「日本列島を震撼させた東日本大震災とともに語り継いでいかななくてはならない」と、思いを語られました。

繁藤災害は昭和47年7月5日、豪雨により追廻山が崩壊し、消防団員1名が生き埋めになり、救助活動中に再び大きな山崩れが発生し、新改川で流され亡くなった1名とあわせて、61名が犠牲になった大災害です。



7月の第61回社会を明るくする運動強調月間にあわせて、7月1日にプラザ八王子で同推進委員会主催による決起集会が開かれ、市内の各種団体や企業などから約180人が参加しました。この運動は、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。集会終了後には、講演会や、広報車の巡回などが行われました。